

令和6年度 第3回名張市子ども権利委員会会議録

I. 開催日時：令和6年10月15日（火）15時00分～16時30分

II. 場 所：名張市役所4階403会議室

III. 出席者：子ども権利委員会 委員長、委員4名

事務局：福祉子ども部保育・家庭担当部長、子ども家庭室長、
保育幼稚園室長、保育指導担当室長、室員2名

IV. 内 容：

1. あいさつ

2. 議事

(1) ばりっ子すくすく計画(第6次)(案)について

【質疑・意見交換】(委)：委員長 ○：委員 ⇒：事務局)

(1) ばりっ子すくすく計画(第6次)(案)について

修正部分について 【事務局より説明】*省略*

○： 「外国人の子ども」という表記を「外国につながる」という表現に統一してはどうか？

⇒： 前回の権利委員会のとき「外国人」、「外国籍」、「外国につながる」のどれが一番いいのかという議論がありましたが、県の多文化共生推進計画で外国人の定義について記述があり、それに合わせて外国の方については「外国人」と書かれているので、今回の案では「外国人の子どもへの支援の充実を図ります」としました。しかし、「外国につながる」という表現を使用している箇所もあるので、「外国につながる子ども」として統一します。

○： 学校の道徳科は教科化となった際に特にいじめ防止に力を入れています。守られる権利の行動計画「地域住民、関係との連携による虐待防止体制を充実します。」に道徳教育の充実についても付け加えてはどうでしょうか。

⇒： 生きる権利の行動計画「差別を許さない子どもを育成するため、人権教育を充実します」という形で書いてあり、その中に道徳教育の推進という文言がありますので特に付け加えなくてもいいのではと考えております。

○： 生きる権利では差別の話として道徳教育の記述が出ているので、重複しているということではなく、いじめについても道徳教育で力を入れていくという言う意

味で守られる権利の行動計画にも入れて良いのではないかと思います。

⇒： いじめ防止の道德教育についての記述をどこに入れるのが適切か教育委員会と協議したうえで追加いたします。

(ばりっ子すくすく計画子ども向け概要版について)

○： ばりっ子すくすく計画を知ってもらいたいという意味でこれを出すのであれば、文字が小さく、ルビが振ってあっても意味がわからないから、子どもは読めないと思います。内容的にも計画、指針と言われてもさっぱりわからないと思います。中学生に頑張って読んでもらいたいのであればルビはいらないと思うし、対象年齢をまずどうするのかをはっきりさせてからの方がいいのではないのでしょうか。

⇒： 今まで子ども向けのものが一切なかったもので、何かこういう計画があるということだけでも知ってもらえたらと思っています。本来であればほっとラインなどの子ども相談室のお便りみたいに、小学校の低学年向け、小学校高学年・中学生向けと、高校生向けの3種類つくるのがベストかなとは思いますが、できれば1種類で100%の内容にはならなくても少しでも子どもにとって興味を持って見てもらえたらと思っています。

○： 行動計画・行動指針は小学生の子どもたちにとってみれば我が事として見るにはちょっと内容としては難しいかなというふうに感じます。「なばりん」をせっかく載せているので、なばりんが話しているように書いて欲しいです。子どもたちに言ってるようにやわらかい言葉で書いてほしい。

⇒： 皆さんから頂いたご意見から子ども版の概要をもう一度考えさせていただきます。

(第2章子どもと子育て家庭を取り巻く状況について)

○： 児童扶養手当受給者数のグラフについて、児童扶養手当はひとり親家庭のものということが一般的には知られてなくて、児童手当と混同すると思うので、何か一言説明があればいいと思いました。

⇒： 児童扶養手当の説明を追加します。

○： 赤ちゃん訪問で子育て世帯のお母さんお父さんと話すと、産科がなくなるので名張市はどうなるのかと不安不満を聞くことがとても多いです。そういう人からすると、「妊娠前から学童期までの福祉サービスや教育環境について3人に2人が満足している」という説明を読んだら、実感と違うと思われるのではないかと思います。

います。それであれば不満をちゃんと受けとめているというふうにした方がよいと思う。

⇒： 子どもの福祉に携わる部門からすると、満足度が高いことの方を説明したいという思いがありますが、ここは3割が不満を持っているという文言にします。

(小学5年生、中学2年生へのアンケート結果について)

⇒： 「名張市に子ども条例があることを知っていますか」の前の令和3年度の調査で上がって、また今回下がってるというグラフが一番気になるところです。なぜ下がったのかどうせ聞かれるなら、質問方法をこう変えたということを書いてはどうかという意見が出ました。「質問内容を見直し予備知識を例示せず、率直に認知について質問するという形に戻したことが大きく影響したと考えられます」、という形で記述します。

○： 「学校に行くのが楽しいと思いますか」のグラフの説明について、「学校に行くのが楽しいと答える子どもは小学生より中学生が多く」とあるがあまり変わらないように見えます。「小学生、中学生とも、1割強の子どもたちが学校に行くことを楽しくないと答えています。」とする方が、インパクトがあると思います。

⇒： どこに力を入れて取り組まなくてはならないのかという課題を、アンケート結果から読み取り計画に反映するというのが一番のねらいとしてはあるので、1割の子が行きたくないと考えておりそこに対する取り組みについて力を入れていきます、といった記述に修正します。

(第3章 行動の基本的な考え方について)

○： 「基本的な生活習慣を身に付けさせよう」になってますが、子どもだけでなく親自身も生活習慣を身につけて欲しいので「基本的な生活習慣を身に付けよう」の方がいいのではないのでしょうか。

⇒： 「基本的な生活習慣を身に付けよう」に修正します。

○： 「いろいろな方法で自分を表現し、自分を高めていこう。そのことによって周りの人に迷惑を掛けたり、傷付けたりしないように気をつけよう」とありますが、「そのこと」とはどのことなのか。また「周りの人に迷惑をかけたり傷ついたりしないよう気をつけよう」は、まるで自分を高めていくことがだめみたいになってしまっているのではないのでしょうか。

⇒： では「いろいろな方法で自分を表現し、自分を高めていこう。」に修正します。

(第4章 行動計画に基づく取組について)

○： 参加する行動計画「子ども若者の意見が様々な取り組みに反映できるよう、ユースカウンシルの形成を推進します」とありますが、ユースカウンシルが一般的でないので、説明が必要だと思います。

⇒： 普及している言葉ではないので、「子ども・若者たちが自らの力で、まちづくりの提案を行う協議体」、というような注釈を入れます。

○： 育まれる行動計画「地域の子育て環境の充実を図ります」に、今盛んに行われている放課後子ども教室のことを付け加えてはどうでしょう。「地域とともにある学校づくりを進めます」という文章の中に、今名張市すべての学校がコミュニティスクールということで学校運営協議会を設置してあるので、コミュニティスクールについての文言も入れてもいいかなと思います。

⇒： 教育委員会からの記述を反映します。

○： 表紙のイラストについて、今回改定の目玉が幅広く妊婦から若者まで含めると書いているのに、裏面も表面も子どもばかりなので、幅広い計画にするという絵に変えられないかなあと思います。

⇒： そのように修正します。

(その他)

⇒： 東海地区子ども条例ネットワーク総会の日程が決まりました。12月8日(日)の13時開場、13時半開演を予定しております。ぜひご参加いただけたらと思います。会場はふれあいです。どうぞよろしくお願いたします。

⇒： 今の段階で考えているのが、二部構成で第一部は名張市の子ども会議であるばりっ子会議の取り組みを説明してもらおうと思っています。現在ばりっ子会議に入ってる子ども、過去に入っていた子ども、赤目で地域版ばりっ子会議のような取り組みをしている子、今は大学生でばりっ子会議に長く入っていて、そのあとジュニアリーダーをしていた子。その当時の思いとか、エピソードを発表してもらおうと思っています。その大学生の子に進行役お願いしたいと思っています。

第二部は、名張市の子ども条例の制定から経過や取り組んできたことを発表する予定です。あとはネットワークの先生に子どもの権利についてのお話をしていただいたり、シンポジウムという形で行う予定です。

委： 以上です。ありがとうございました。